

編集・企画

八幡平ふるさと会 広報委員会

〒103-0015

中央区日本橋箱崎町36-3-806

TEL 03-5640-1422

FAX 03-5640-1433

第12回

◆みんなの癒しの場◆
八幡平ふるさと会の集い

平成30年度、第12回「八幡平ふるさと会の集い」は、5月27日(日)、日暮里駅南口の「ホテルラングウッド」にて開催いたします。

八幡平市から田村市長はじめ、来賓の方々が出席予定。今年は歌手の「扇ひろ子」様をはじめ、ふるさと会役員で歌手でもある小林竜也氏、その弟で民謡歌手の北條なおき氏も出演致します。また恒例の福引抽選会や合唱、ふるさと会の物産販売もあります。多数の方の参加をお待ちしております。みんなで楽しいひとときを過ごしましょう！



【八幡平ふるさと会】総会・集いに向けて

田村啓造 会長



年一度の故郷情報交換、及び旧知の方との再会を楽しみにしている「ふるさと会」も一ヶ月後となりましたが、皆様方如何お過ごしでしょうか？昨年と違い今年、田村市長及び市議会からも参加して戴ける事になっています。

「第12回八幡平ふるさと会の集い」

◆日時：平成30年5月27日(日)

午前11時00分～

(受付：午前10時30分～)

◆場所：ホテルラングウッド 2階「飛翔の間」

東京都荒川区東日暮里5-50-5

電話 03-3803-1234

◆会費：9,000円 (子ども同伴者は12,000円)



◆JR山手線、京浜東北線、常磐線/日暮里駅南口徒歩1分

◆京成線、舎人ライナー/日暮里駅徒歩3分

八幡平ふるさと会も十二年経過しますが、一昨年まではこれまで行ってきた地域毎の個性が強く、会の運営においてに強調され役員各自が本心から納得しての賛同であったか疑問に感じる点が多々ありました。しかしこの年月で少々の対立構造がノーサイドとなり、皆さんの御意見や御提案により融合し、改革と改善で本

来の「ふるさと会」の姿が見え、一体感を得られ大変心強く思っています。未来に向かって前進し続ける事を念願して居ります。「継続は力なり」と申しますが、現状維持だけでは後退に繋がります。今後は後退に繋がらず、前進してまいります。皆様方より今迄以上の御知恵と御協力を戴けます様、切にお願い致します。

多数の御参加と首都圏に於ける八幡平市のイベントにも御協力を願います。
「一人は皆の為に、皆は一人の為に！」



扇ひろ子友情出演決定

今年も有名歌手が友情出演いたします。

扇ひろ子

昭和 39 年 8 月 5 日、「赤い椿の三度笠」でデビュー。遠藤実の門下生として、昭和 41 年に「哀愁海峡」をヒットさせる。翌昭和 42 年、師弟での新宿キャンペーンが実を結び、「新宿ブルース」がミリオン・ヒットとなり、NHK 紅白歌合戦に初出場を果たした。



兄:小林竜也

昭和 47 年 テイチクレコード専属「夕焼け馬子唄」でデビュー
元テイチクレコード歌手・東芝 EMI プロデューサー
現在は日本作曲家協会会員
曲：人生吹きだまり



ふるさと会副会長の小林竜也氏はもちろん、その弟で民謡歌手として活躍されている、北條なおき氏も出演が決定！

弟:北條なおき（本名:小林賢）

民謡北條門人会会長 オリエントレコード所属
18 歳で上京と同時に民謡と津軽三味線を師事。
昭和 57 年に日本民族舞蹈団所属し全国を公演。
海外は主にヨーロッパ、アメリカ、中南米、中国、トルコ他 35 ヶ国に津軽三味線演奏家として参加。現在は津軽三味線講師として 3 ヶ所のカルチャーセンターに務める。門人会会長としても後進の育成に務めている。



豪華歌手達によるショーを心ゆくまで堪能ください。

◆八幡平ふるさと会によせて◆

八幡平市市長 田村 正彦



恒例の八幡平ふるさと会の集いが、今年も開催されますことに、心からお祝い申し上げます。昨年は、市内行事と重なり、出席することができず残念でしたが、200名を超える参加者との思い出話やアトラクション鑑賞など、大盛況の中で楽しい時間を過ごされたと聞き及んでおります。県内外の市町村でも、これほど多数の参加者が集うふるさと会は見受けられません。会員の皆様へのふるさとへの熱き思いに感動しております。これも継続して開催することができたのは、田村会長を始めとする役員、事務局並びに歴代の会長、役員の方々のご尽力によるものと深く感謝いたします。

さて、私は昨年9月の市長選挙におきまして、皆さまから温かいご支援とご支持をいただき、4期目の市政運営をお預かりすることとなりました。これまでの3期12年の取り組みへの評価と、私の掲げました、これからのまちづくりビジョンや、「医療、福祉、子育て支援対策」、「誘致企業を含む地場産業の振興対策」などに対する期待の表れであると受け止めており、改めて、その重責に身の引き締まる思いであります。

昨年から今春にかけて、ラグビートップリーグ強豪チームのパナソニック・ワイルドナイツの合宿誘致を行い、トップリーグ準優勝に貢献しました。また、2月に開催された平昌オリンピックにおいて、小林潤志郎・小林陵侖選手がジャンプ競技に出場したほか、ノルディック複合競技では、前回のソチオリンピックに引き続き、永井秀昭選手が出場しました。このことは、まさに『スキー王国八幡平』を象徴するものであり、今後もスポーツのまち八幡平市を全国に発信してまいります。

今年15日に、春の観光シーズンの始まりを告げる八幡平アスピーテライン、25日は樹海ラインが開通する予定です。これを機会に八幡平にご家族やお友達、外国の方を伴って訪れていただき、雪の回廊や効能豊富な温泉、山菜料理に舌鼓など大自然を満喫していただきますとともに、改めて「HACHIMANTAI」の魅力を発信していただければ幸いです。今年も引き続き、ふるさと納税に対する返礼品を贈呈しております。八幡平らしい魅力的な返礼品を選定し、会員の皆様にかかるログを配布しているところですので、是非、八幡平市にふるさと納税していただき、市勢発展のテーマである「ともに暮らし、しあわせ感じる八幡平市」を実現するためにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

▼新しくなった大更駅の外観



【大更駅舎がリニューアルしました】

JR花輪線大更駅の駅舎が、新駅舎建設工事のため、昨年2月に解体されたことは、今年の会報でお知らせしたところですが、この度、2階建ての新駅舎及びエレベーター付きの自由通路が、去る2月23日に新設されました。これにより、西口（駅舎側）と東口（西根バイパス側）往来できることで、西根病院の移転新築事業も本格化し、大更駅周辺のにぎわい創出による地域活性化につながることでしょう。



旧大更駅

通路と駅舎はともに鉄骨造り。線路を東西にまたぐ通路は長さ35メートルで、エレベーター（各1基）と休憩所（各15席）を東西にそれぞれ設けた。来月中には通路西口付近に無料公衆無線LANを設置する予定。

ふるさとダイジェスト



八幡平ふるさと会の集い写真



安代地区



西根地区



松尾地区



故郷の思い出

パート1

旧西根町出身 福内 秀子

私の住んでいた所は、通称駅前一区と呼ばれ花輪線の大更駅と、松尾鉦山鉄道の大更駅と、並ぶようにしてありました。特に松尾鉦山鉄道のホームは家の前にあり、よく遊びました。雨

の日はホームの荷物置場が格好の遊び場でした。父が電車の運転手だったので、大目に見てくれたのでしょうか、叱られた事はなかったと思います。

これと言って娯楽も無い子供時代でしたが、たまに屋敷台にいる親戚の家に行くのが楽しみでした。長屋がいつぱい並んでいる光景が、今でも浮かんで来ます。

高校に進み、一番列車で盛岡に行き、最終電車で帰宅する三年間。通学でお世話になった花輪線の駅舎がどの様に生まれ変わるのか、駅前がどの様に変化する



平成27年に廃止された花輪線快速八幡平

るのか、今から楽しみです。その反面、新しくバイパスが出来、車や人の流れが変わり、大更の街が寂れるのが淋しい限りです。

4年前に一人住居の母を千葉に連れてきて今では実家も有りませんが、友人がたくさんいますので一年に一度くらい、故郷に帰りたいと思ひ頑張っています。

故郷の思い出

パート2

旧安代町出身 栗山 征治

私のふるさとの思い出は銀世界の雪景色から始まります。六十年程前の昭和三十三年の正月も終わり三期が始まり学校ではスキージョの練習ばかりしておりました。

私が田山中二年生の時一つ上の工藤繁先輩にスキー部に入るよう勧められました。

丁度、距離用のスキーが一台空いているので一緒にやろうとの誘いを受け早速、入部して練習に励むことになりました。私はその年、県の中学校大会に連れて行ってもらいその時の成績が確か、七位でした。そして三年生になり本格的に練習に励みました。県大会の前に校内で選手選考会をするとの話がありました。私はジャンプ競技にも出たいと思ひ、スキー部顧問の太田

静男先生に相談したら許可が出ました。ところがジャンプ用のスキーがなかったので三ヶ田礼三先生に話してスキーを借りる事にしました(先生は後にオリンピックでゴールドメダリストになる三ヶ田礼一氏のお父さんです)。

そこでなんと、私がジャンプで優勝してしまい、県大会でも飛ぶように言われ驚きました。大会前日、選抜選手全員、総勢三十人程揃って会場である鉛温泉スキー場に向かいました。ノルディック競技は圧倒的に松尾鉦山中学が強く装備も我々の物とは全く違っていて立派な物でした。

いよいよ県大会当日。初日は開会式に続いてリレー競技が始まり、第一走者から我が校はトップ。私がア

ンカーだったのでトップでタッチを受け必死で逃げ切りを図りました。結果は見事一着でゴール。ゴール後、皆で歓声を上げ喜んだのを覚えております。二日目はジャンプとアルペン競技。

私はジャンプ競技に挑戦し松尾鉦山中の吉田君に続いて二位となりました。アルペンの選手も皆、頑張ってくれて、いよいよ三日目はこれまで練習に練習を重ねてきた距離競技です。距離競技の場合は等間隔でスタートして行きます。私は後ろの方でのスタートでした。三日間天候にも恵まれ、気持ち良くスタートする事が出来、後ろからスタートした選手に抜かれない様と、とにかく前だけをみて走り、前にスタートした選手を何人かを追い越してゴール。距離競技の場合は全員がゴールしないと順位が決まらないので結果が出るまでドキドキそわそわしていたら先生から優勝したとの



情報が入りこの時も皆で大喜びをしました。そして我が校が総合優勝をする事が出来、閉会式の時、手にした優勝旗の感覚は今でも忘れる事ができません。

大会に行く前に先生から、優勝したら何か好きな物を腹いっぱい食べさせて上げると言うのでバナナをご馳走して下さいと約束をしましたが、これはついに果たして貰う事ができませんでした。今、時々バナナを食べながら当時を思い出しております。私にとってあの時の努力と忍耐はその後の人生に大いに役立つ事になりました。これが私のふるさとでの思い出です。

故郷の思い出

パート3

旧松尾村出身 高橋 勤治

私の出身地は旧松尾村の上寄木という地区で近くに中山荘があります。家が点在し周りは水田、小山と雑木、松の防風林、温泉の湯を引く冬でも野菜を栽培するビニールハウス、わずかに畑がある風景です。少し標高が高く西根インターチェンジや282号線の向こうの山々が視界に入り、景色が

とても良い場所です。今は千葉市稲毛区に住んでいますが、千葉に引越す際に「千葉は冬でも暖かいところだよ」と言われ、あのふるさとの真冬の寒さと吹雪がなく、南国のような暖かさをイメージしていましたが、そんなことはありませんでした。確かに雪は降らないのですが、寒さはあんまりふるさとと変わらないように感じ、半分がっかりしま

した。関東に住んでいる皆さんはどうだったでしょうか。

ふるさとを離れ40年あまりが過ぎ、思い出はわずかに薄れかけていますが、ふるさとで体感したことは体に染みついており、忘れることはありません。

春は、雪解けの場面が目に見え付いています。雪で真っ白だった地面が、春の日差しと暖かい風によって雪が解け、水の中に緑が目立つ地面が現れや々と春が来たなーとわくわくする気持ちになりますよね。夏は、

松川に良く泳ぎに行きました。川の源流に近いので水が冷たいこと。ちよつと浸かっただけでもブルブルで暖まった石にくっついて冷えた体を暖めました。

秋は、実りの秋、学校帰

り得意だった木登りで木の上のアケビを取りました。今では開発が進んで昔アケビを取った林はなくなっていますね。

冬は、外でソリ遊び、実家のすぐ裏に山があり木材を加工してソリを作り、山の上から滑り落ちます。ジャンプもあり飛んで着地すると尻が超痛い。

自然の中で遊ぶ、そういう少年時代で良い思い出となっています。皆さんはどうでした？



“限りある地球の無限を願い”

ムゲンシステム株式会社

代表取締役 伊藤 彰

東京都中央区日本橋箱崎町36-3

TEL03-5640-1422 FAX03-5640-1433

URL: <http://www.mugensystem.co.jp>

岩手県立平舘高等学校同窓会東京支部



支部長 高橋 和一

事務局長 白川 博春

〒125-0054 東京都葛飾区高砂 2-31-17

電話 03-3672-4475

ふるさとのオリンピック選手

3月に行われた平昌オリンピックでは、八幡平市出身の選手が活躍しました！

永井秀昭（ながい ひであき）

～プロフィール～

生年月日：1983年9月5日

出身：岩手県八幡平市（旧安代町）

中学校：田山中学校

高校：盛岡南高等学校

大学：早稲田大学

現在：岐阜日野自動車所属



主な成績

2014年ソチオリンピック（ロシア）

個人ノーマルヒル 22位

個人ラージヒル 26位

団体5位（永井秀昭、湊祐介、渡部善斗、渡部暁斗）

2018年平昌オリンピック（韓国）

個人（グンダーセン、ノーマルヒル）14位

個人（グンダーセン、ラージヒル）12位

団体4位（渡部善斗、永井秀昭、山本豪、渡部暁斗）



同窓会

相談役

桐友会

同窓会

ラグビー部OB会

関東支部

東京支部

東京支部

田村 啓造

（西根町平館出身）

朝霞市朝志ヶ丘一・五・四〇・E九二

TEL 〇四八(四七二)〇一五二（FAX併用）

携帯 〇九〇・二五五七・二八九八

岩手県立盛岡工業高等学校



Kent Retractor

～鉤と書えばKent鉤～

代表取締役社長

白川 博 春



高砂医科工業株式会社 Takasago

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目42番2号
TEL: 03(3812)2668 FAX: 03(3812)4390
E-mail: h.shirakawa@takasagoika.co.jp

兄：小林潤志郎

(こぼやし じゅんしろう)

～プロフィール～

生年月日：1991年6月11日
 出身：岩手県八幡平市（旧松尾村）
 中学校：松尾中学校
 高校：盛岡中央高等学校
 大学：東海大学
 現在：雪印メグミルク

**主な成績**

2018年平昌オリンピック(韓国)
 個人ノーマルヒル 31位
 個人ラージヒル 24位

スキージャンプ・ワールドカップ
 初出場 2011年11月27日
 フィンランド・クーサモ
 初優勝・初表彰台 2017年11月19日 ポーランド・ヴィスワ

弟：小林陵侑

(こぼやし りょうゆう)

～プロフィール～

生年月日：1996年11月8日
 出身：岩手県八幡平市（旧松尾村）
 中学校：松尾中学校
 高校：盛岡中央高等学校
 現在：土屋ホーム

**主な成績**

2018年平昌オリンピック(韓国)
 個人ノーマルヒル 7位
 個人ラージヒル 10位
 ラージヒル団体 6位(竹内択、伊東大貴、葛西紀明、小林陵侑)

八幡平市出身のオリンピック選手 08**三ヶ田礼一**

(みかた れいいち)

～プロフィール～

生年月日：1967年1月14日
 出身：岩手県八幡平市（旧安代町）
 中学校：安代町立田山中学校
 高校：東奥義塾高等学校
 大学：明治大学
 アルペールビルオリンピックでは日本の冬季オリンピック史上2個目となる金メダルを獲得。リレハンメルオリンピックでは日本選手団の旗手を務めた。

**主な成績**

▼1991年ヴァル・ディ・フィエンメ世界選手権(イタリア)
 個人16位、団体銅メダル(三ヶ田礼一・阿部雅司・児玉和興)
 ▼1992年アルペールビルオリンピック(フランスの旗 フランス)
 個人34位、団体金メダル(三ヶ田礼一・河野孝典・荻原健司)
 ▼1993年ファルン世界選手権(スウェーデン)
 個人40位

ふるさと会の集いに参加を!

総会実行委員長

伊藤 勝美

八幡平ふるさと会会員の皆様、こんにちは!今年も「ふるさと会の集い」の時期がやってまいりました。

前回は会場予約の不手際で、6月開催となりご迷惑をお掛けしましたが、今回は例年通り5月最終日曜日の開催となります。今後の開催につきましましては、この時期を固定したいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

さて、今年のアトラクションは歌手の扇ひろ子さんが好評につき再度の出演となります。また、当会副会長であり、地元出身歌手の小林竜也氏、そして会員の北條なおき氏(日本郷土民謡協会特認講師)ご兄弟が熱唱する豪華歌謡ショーを企画しております。その他にも地元物産の販売、協賛品の抽選会等、

様々なお楽しみも用意し、皆様のお越しをお待ちしておりますので、是非ご参加下さいます様お願いいたします。

また、会員の皆様には新規会員獲得のご協力をお願いしているところですが、昨年、松尾鉦山縁の方々より多数の新規登録を頂きました。このことのご報告とともに、この場をお借りし感謝申し上げます。

尚、引き続き新規会員の募集をしておりますので、親類縁者のなかで、東京近郊にお住いの方がいらつしやいましたら、各名簿委員までご紹介を頂きます様宜しくお願いいたします。



参加自由のゴルフの会

参加者募集中

〈八幡平ふるさとゴルフ会〉

期日：8月15日

場所：大更…南部富士CC

〈岩手県人連合会ゴルフ大会〉

期日：10月10日

場所：千葉県…紫CC あやめコース

連絡先：八幡平ふるさとゴルフの会

責任者：坂本 敦子

電話番号：047-386-5558



◆お知らせ◆

毎年、皆様に送付している会報及びふるさと会の集いの案内が多数戻ってきております。転居などで住所変更された場合は、名簿管理委員会事務局へご連絡をお願いします。

同封のハガキに必要事項を記入の上、必ず返送下さい。又、新しい案内送付希望の方がいましたら氏名、住所、中学卒業年度、学校名、電話番号をお知らせ下さい。

〈名簿管理委員〉

名簿管理委員会委員長

栗山征治(安代地区) 03-3674-4868

○安代地区 清水 靖子 042-251-1532

○西根地区 福内 秀子 047-154-3366

○松尾地区 高橋 スエ 03-6789-4125

〈編集後記〉

前任の市野さんから引き継ぎまして、今回から会報担当を致します、田頭出身の伊藤淳吉です。ふるさと会の役員の方々は、地元から関東に出て大活躍されている大先輩がとても多く、良い刺激をもらえています。今年32歳になる若輩者ではありますが、今後もふるさと会を盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。(伊藤)